

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
【発行日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)

【公表番号】特表 2010-527861 (P2010-527861A)  
【公表日】平成 22 年 8 月 19 日 (2010.8.19)  
【年通号数】公開・登録公報 2010-033  
【出願番号】特願 2010-509894 (P2010-509894)  
【国際特許分類】

**B 6 5 D 83/44 (2006.01)**

**B 0 5 B 9/04 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 D 83/14 B

B 0 5 B 9/04

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 27 日 (2011.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入口及び出口を具えたバルブであって、

当該バルブが、平衡な第 1 の位置と開放された第 2 の位置との間で可動なバルブ要素を有しており、

前記バルブ要素が前記第 1 の位置にある場合に、前記入口及び出口が流体連通せず、

前記バルブ要素が前記第 2 の位置にある場合に、前記入口及び出口が流体連通し、

前記バルブ要素が、前記入口及び出口での圧力に応じて前記第 1 の位置及び前記第 2 の位置の間で可動であることを特徴とするバルブ。

【請求項 2】

前記バルブ要素が、前記出口での圧力に対応する第 1 の表面積及び前記入口での圧力に対応する第 2 のより小さい表面積を有するピストンを具えており、

前記ピストンが、前記第 1 及び第 2 の表面積での正味の力に応じて可動であることを特徴とする請求項 1 に記載のバルブ。

【請求項 3】

前記ピストンが、前記出口と流体連通する第 1 の穴の中で可動であり、

前記第 2 の表面積が、前記ピストンに取り付けられ前記入口と流体連通する第 2 の穴の中で可動なロッドに設けられていることを特徴とする請求項 2 に記載のバルブ。

【請求項 4】

貫通穴が前記ロッドに設けられており、

上部シール及び下部シールが、前記ロッドと前記第 2 の穴との間で摺動シールを与えるよう設けられていることを特徴とする請求項 3 に記載のバルブ。

【請求項 5】

前記第 2 の位置で、前記ロッドの端部が、流体が前記下部シールを通過して前記ロッドの周りを流れ前記貫通穴に流入し得るように、前記上部シール及び下部シールの間に位置することを特徴とする請求項 4 に記載のバルブ。

【請求項 6】

前記バルブ要素が、前記入口及び出口での圧力に応じて前記入口及び出口が流体連通し

ない第 3 の位置に可動であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のバルブ。

【請求項 7】

前記バルブ要素が、第 4 の位置に可動であり、前記出口から前記入口への流体流れを可能とすることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のバルブ。

【請求項 8】

前記バルブ要素が、単に前記入口及び出口での圧力に応じて前記第 1 の位置及び前記第 2 の位置の間を移動し、

前記第 1 及び第 2 の位置間で前記バルブ要素を動かすための付勢要素又は制御要素が存在しないことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のバルブ。

【請求項 9】

実質的に本書に記載された及び / 又は添付図面に関するバルブ。

【請求項 10】

容器と、前記容器から加圧液体を放出するためのノズルとを具えるディスペンサであって、

さらに、当該ディスペンサが、前記容器に加圧流体を供給するための圧力源を具えており、

前記圧力源及び容器が、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のバルブによって結合されていることを特徴とするディスペンサ。

【請求項 11】

前記圧力源が、前記容器に取り外し可能に結合し得ることを特徴とする請求項 10 に記載のディスペンサ。

【請求項 12】

前記圧力源が、前記バルブ及び圧力瓶を具えることを特徴とする請求項 11 に記載のディスペンサ。

【請求項 13】

前記容器が、前記圧力源に係合するための結合部を有しており、

前記結合部が、圧力源が前記容器に係合するときに前記バルブ要素を前記第 3 の位置から前記第 2 の位置に押しやるためのプッシュロッドを有することを特徴とする請求項 5 に間接的に従属する請求項 12 に記載のディスペンサ。

【請求項 14】

前記ノズルが、前記容器の中に延びるチューブに結合可能であり、液体が前記容器から小出しされ得ることを特徴とする請求項 10 乃至 13 のいずれか 1 項に記載のディスペンサ。

【請求項 15】

前記液体が、噴霧、噴出又は発泡体のいずれかの態様で小出しされることを特徴とする請求項 10 乃至 14 のいずれか 1 項に記載のディスペンサ。